

科目 コード	14010	授業 科目	日本語表現法 (Japanese Language Communication)			担当 教員	○喜屋武政勝(非常勤) 伊狩典子(非常勤) 仲原 穰(非常勤)		
開講年次	1年次 後期	単位数	2単位	科目 分類	教養科目	授業 形態	演 習		
選択必修	必 修	時間数	60時間						
履修 条件	前提科目	なし							
	その他	なし							
授業概要	社会生活や職業生活においてスムーズなコミュニケーションをとるために欠かせない日本語による話し方及び日本語の特徴について学習する。特に、形式と目的に合った簡潔・明瞭、正確かつ論理的に表現する方法を学ぶ。また、うちなーぐち（沖縄の方言）の表現の特徴についても学習する。								
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 日本語による表現の基礎となる日本語の基礎的な特徴について理解できる。 2. 自分の考えを日本語で的確に表現し、相手に伝えることができる。 3. 場面に合わせて適切な文体や敬語を使うことができる。 4. うちなーぐちの表現と琉球語の特徴について理解できる。 								
授業回数	授 業 内 容 及 び 計 画				事前・事後学習 (学習課題)	担当者名	授業形態		
第1回	日本語の特徴①語彙の体系（語彙をゆたかに）				プリント	喜屋武	講義＋演習		
第2回	日本語の特徴②語彙の体系（まとめ、練習）								
第3回	日本語の特徴③文法の体系（品詞、「てにをは」）								
第4回	日本語の特徴④文法の体系（「は」と「が」）								
第5回	日本語の特徴⑤音韻の体系（音節と単音、音声と音韻）								
第6回	日本語の音声表現①読みと分析「絵本」								
第7回	日本語の音声表現②感想の交流								
第8回	日本語の音声表現③発表、表現読み								
第9回	日本語の音声表現④読みと分析、感想の交流 「わすれられない おくりもの」								
第10回	日本語の音声表現⑤読みと分析、感想の交流 「詩 五編」								
第11回	日本語の音声表現⑥「あなた、その川を渡らないで」 鑑賞				プリント	伊 狩			
第12回	日本語の音声表現⑦感想の交流								
第13回	沖縄方言入門（簡単なあいさつことば）								
第14回	沖縄方言の表現①（よく使う沖縄方言の表現）								
第15回	沖縄方言の表現②（健康・体調不良に関わる表現） 期末試験								
第16回	日本語の単語①（複合語・派生語）							仲 原	
第17回	日本語の単語②（省略語）								
第18回	日本語の表現①（慣用句）								
第19回	日本語の表現②（ことわざ・四字熟語）								
第20回	日本語の文のしくみ①（文の種類・動詞の基本）								
第21回	日本語の文のしくみ②（受身文）								
第22回	日本語の文のしくみ③（可能文・間違いやすい表現）								
第23回	日本語の文のしくみ④（使役文）								
第24回	日本語の文体（文体の基本・若者ことば）								
第25回	日本語の文のしくみ⑤（敬語の基本）								
第26回	日本語の文のしくみ⑥（敬語の使い方・間違いやすい敬語）								

第27回	日本語のまとめ／中間試験—日本語の単語・文のしくみ・文体—		〃
第28回	沖縄のことば①（琉球語の名称・範囲・区分・うちなーぐちとの違い・現状）		〃
第29回	沖縄のことば②（琉球語の多様性・うちなーやまとうぐち）		〃
第30回	沖縄のことば③（うちなーぐちの音と文のしくみ） 期末試験		〃
テキスト	基本的にプリントを使用（喜屋武・仲原） 配布資料（伊狩）		
参考文献	野田尚史・森口稔(2004)『日本語を話すトレーニング』ひつじ書房 稲福盛輝(1992)『医学沖縄語辞典』ロマン書房 庵 功雄・日高水穂・前田直子・山田敏弘・大和シゲミ（2003） 『やさしい日本語のしくみ』くろしお書房 西岡敏・仲原穰（2006[2000]）『沖縄語の入門—たのしいウチナーグチ—』白水社		
他科目との関連	授業科目全般		
成績評価の方法	① 学習参加状況（発表、小課題）25%、試験 75%（喜屋武、伊狩） ② 学習参加状況（コメントシートの提出）25%、試験 75%（仲原） ①②を総合して評価します。		
学習相談・助言体制	小テスト、受講メモの取り組みや、スピーチやインタビューなど、次回の授業のための準備をしてもらい、授業内外での学習活動を促す。 沖縄方言による会話を暗唱できるように指導する。配布されたプリントや資料を2日以内に見直して講義をふり返る。		
授業改善の特記事項	グループ活動を多用することにより、授業を活性化するとともに、ともに助け合いながら、学び合う姿勢を育てる。 沖縄方言による会話例を講義資料として配付する。		
備考	*都合により、変更になることがあります。		

科目 コード	14141	授業 科目	英 語 I (English I)			担当 教員	○山城綾子			
開講年次	1年次 前期	単位数	2単位	科目 分類	教養科目	授業 形態	演 習			
選択必修	必 修	時間数	60時間							
履修 条件	前提科目	なし								
	その他	なし								
授業概要	日常生活や様々な場面で必要とされる英語の表現法を学び、インプット（聴く）からアウトプット（話す）まで効果的に学習する。またコミュニケーションには不可欠な異文化理解も意識しながら総合的な英語力を身につけられるよう学習する。									
到達目標	1. 会話表現で用いる基本的な語彙を習得できる。 2. 基礎的な文法を理解し、実際の会話で活用できる。 3. 異文化理解を深めながら、自分の考えや意見を英語で表現できる。									
授業回数	授 業 内 容 及 び 計 画				事前・事後学習 (学習課題)	担当者名	授業形態			
第1・2回	Unit 0+1 + Online Practice 1 Listening Quiz 1				P. 2-9	山 城	演 習			
第3・4回	Unit 2 + Online Practice 2 Reading Quiz 1 + Listening Quiz 2				P.10-15					
第5・6回	Unit 3 + Online Practice 3 Reading Quiz 2 + Listening Quiz 3				P.16-21					
第7回	Review Units 1 - 3				P.22-23					
第8・9回	Unit 4 + Online Practice 4 Reading Quiz 3 + Listening Quiz 4				P.24-29					
第10・11回	Unit 5 + Online Practice 5 Reading Quiz 4 + Listening Quiz 5				P.30-35					
第12・13回	Unit 6 + Online Practice 6 Reading Quiz 5 + Listening Quiz 6				P.36-41					
第14・15回	Review Units 4 - 6 Comprehensive Session				P.42-43					
第16・17回	Unit 7 + Online Practice 7 Reading Quiz 6 + Listening Quiz 7				P.44-49					
第18・19回	Unit 8 + Online Practice 8 Reading Quiz 7 + Listening Quiz 8				P.50-55					
第20・21回	Unit 9 + Online Practice 9 Reading Quiz 8 + Listening Quiz 9				P.56-61					
第22回	Review Units 7 - 9				P.62-63					
第23・24回	Unit 10 + Online Practice 10 Reading Quiz 9 + Listening Quiz 10				P.64-69					
第25・26回	Unit 11 + Online Practice 11 Reading Quiz 10 + Listening Quiz 11				P.70-75					
第27・28回	Unit 12 + Online Practice 12 Reading Quiz 11 + Listening Quiz 12				P.76-81					
第29・30回	Review Units 10 - 12 + Reading Quiz 12 Comprehensive Session Final Examination				P.82-83					
テキスト	“Smart Choice 2 with Smart Choice Online Practice and on the Move” Oxford University Press									
参考文献	講義中に適宜紹介する。									

他科目との関連	今後学ぶ英語Ⅱ～Ⅳに向けて語彙、英文法の基礎を固める。
成績評価の方法	定期試験 (20%) Listening Quiz (10%) Reading Quiz (10%) E-Learning (20%) 出席・講義参加度 (20%) Reading Rog (20%)
学習相談・助言体制	授業毎に質疑を受け対応し理解を助ける。
授業改善の特記事項	テキスト内容を補充するQuiz及びE-Learningを毎回行う。 学習ストラテジーを用いた多読図書の導入を行う。
備考	大学レベルの英和辞書を必携すること。 教員の免許状 (養護教諭二種) 取得のための必修科目

科目 コード	14142	授業 科目	英語Ⅱ (EnglishⅡ)			担当 教員	○山城綾子		
開講年次	1年次 後期	単位数	2単位	科目 分類	教養科目	授業 形態	演 習		
選択必修	必 修	時間数	60時間						
履修 条件	前提科目	なし							
	その他	なし							
授業概要	英語Ⅰで習得した日常会話の語彙や文法を活かし、保健・看護・医療に関する基礎的なコミュニケーションを学習する。								
到達目標	1. 基礎的な専門用語を習得する。 2. 言語と文化の関係を意識しながらコミュニケーションをとることができる。 3. 様々な場面や状況に即した対応を、英語を用いてスムーズにできる。								
授業回数	授 業 内 容 及 び 計 画				事前・事後学習 (学習課題)	担当者名	授業形態		
第1・2回	Introduction & Unit 1 Sentence Quiz 1				P. 6-11	山 城	演 習		
第3・4回	Unit 2 Vocabulary Quiz 1 + Sentence Quiz 2				P. 12-17				
第5・6回	Unit 3 Vocabulary Quiz 2 + Sentence Quiz 3				P. 18-26				
第7回	Comprehensive Session				P. 27-29				
第8・9回	Unit 4 Additional Vocabulary Quiz Unit 1-3 Vocabulary Quiz 3 + Sentence Quiz 4				P. 30-36				
第10・11回	Unit 5 Vocabulary Quiz 4 + Sentence Quiz 5				P. 37-45				
第12・13回	Unit 6 Vocabulary Quiz 5 + Sentence Quiz 6				P. 46-54 P. 55-57				
第14回	Comprehensive Session				P. 58-65				
第15・16回	Unit 7 Additional Vocabulary Quiz Unit 4-6 Vocabulary Quiz 6 + Sentence Quiz 7				P. 66-75				
第17・18回	Unit 8 Vocabulary Quiz 7 + Sentence Quiz 8				P. 76-84				
第19・20回	Unit 9 Vocabulary Quiz 8 + Sentence Quiz 9				P. 85-87				
第21回	Comprehensive Session				P. 88-96				
第22・23回	Unit 10 Additional Vocabulary Quiz Unit 7-9 Vocabulary Quiz 9 + Sentence Quiz 10				P. 97-103				
第24・25回	Unit 11 Vocabulary Quiz 10 + Sentence Quiz 11				P. 104-112				
第26・27回	Unit 12 Additional Vocabulary Quiz Unit 10-12 Vocabulary Quiz 11 + Sentence Quiz 12				P. 113-115				
第28回	Comprehensive Session								
第29・30回	Final Exam Preparation Final								
テキスト	“Speaking of Nursing” NAN*UN-DO								
参考文献	“看護英語の基本用語と表現” メジカルビュー社								
他科目との 関連	英語Ⅰで習得した語彙や文法を土台として、専門関連科目で得た知識を生かし、看護・保健・医療分野の英語の基礎を学ぶ。								
成績評価 の方法	定期試験 (30%) Sentence Quiz (15%) Vocabulary Quiz (15%) Additional Vocabulary Quiz (10%) 出席・講義参加度 (30%)								

学習相談・ 助言体制	授業毎に質疑を受け対応し理解を助ける。
授業改善の 特記事項	テキスト内容を補充するQuizを毎回行う。視聴覚教材や英字新聞を適宜使用する。
備考	大学レベルの英和辞書を必携すること。 参考文献は出来るだけ入手して活用することを勧める。 学生の積極的参加が求められる。

科目 コード	14143	授業 科目	英 語 Ⅲ (English Ⅲ)			担当 教員	○山城綾子 山口賢一	
開講年次	2年次 前期	単位数	2単位	科目 分類	教養科目	授業 形態	講 義	
選択必修	選 択	時間数	30時間					
履修 条件	前提科目	なし						
	その他	なし						
授業概要	読む、書くことを中心に英語を学習する。一般英文記事を読み、英文を正確に、かつ効果的に理解し、自分の意見を英語の文章で論説的に表現することを学習する。							
到達目標	1. 英文を読み、書くのに必要な基礎的語彙力を習得できる。 2. 英文を読み、書くのに必要な基本的文法を理解し使うことができる。 3. 様々な場面やトピックに合わせて英語で記述できる。							
授業回数	授 業 内 容 及 び 計 画				事前・事後学習 (学習課題)	担当者名	授業形態	
第1回	Introduction				P. 1-4 P. 5-8 P. 9-12 P. 13-16 P. 17-20 P. 21-24 P. 25-28 P. 29-32 P. 33-36 P. 37-40 P. 41-44 P. 45-48 P. 49-52 P. 53-56	山 城 山 口	講 義	
第2回	Timed Reading 1 + Reading Rog							
第3回	Unit 1 Timed Reading 2 + Writing 1 + Reading Rog							
第4回	Unit 2 Timed Reading 3 + Writing 2 + Reading Rog							
第5回	Unit 3 Timed Reading 4 + Writing 3 + Reading Rog							
第6回	Unit 4 Timed Reading 5 + Writing 4 + Reading Rog							
第7回	Unit 5 Timed Reading 6 + Writing 5 + Reading Rog							
第8回	Unit 6 Timed Reading 7 + Writing 6 + Reading Rog							
第9回	Unit 7 Timed Reading 8 + Writing 7 + Reading Rog							
第10回	Unit 8 Timed Reading 9 + Writing 8 + Reading Rog							
第11回	Unit 9 Timed Reading 10 + Writing 9 + Reading Rog							
第12回	Unit 10 Timed Reading 11 + Writing 10 + Reading Rog							
第13回	Unit 11 Timed Reading 12 + Writing 11 + Reading Rog							
第14回	Unit 12 Timed Reading 13 + Writing 12 + Reading Rog							
第15回	Unit 13 Timed Reading 14 + Writing 13 + Reading Rog Unit 14 Timed Reading 15 + Writing 14 + Reading Rog Final Examination							
テキスト	“CNN Student News for Reading and Writing” Asahi Press							
参考文献	講義中に適宜紹介する。							

他科目との関連	英語Ⅰ、英語Ⅱで培った語彙・文法を生かし、ReadingとWritingのスキル強化を図り、英語Ⅳへの導入とする。
成績評価の方法	定期試験(30%) Timed Reading(15%) Reading Log(15%) Writing(20%) 出席・講義参加度(20%)
学習相談・助言体制	授業毎に質疑を受け対応し理解を助ける。
授業改善の特記事項	テキストに限らず附属図書館を利用して速読、多読を行うことで多くの英文に触れる。
備考	大学レベルの英和辞書を必携すること。 ハワイ研修セミナー参加及び課題提出により英語Ⅲ(2単位)の認定を行う。

科目 コード	14144	授業 科目	英語 IV (English IV)			担当 教員	○山口賢一	
開講年次	2年次 後期	単位数	2単位	科目 分類	教養科目	授業 形態	講 義	
選択必修	選 択	時間数	30時間					
履修 条件	前提科目	なし						
	その他	なし						
授業概要	英語で書かれた国内外の文献を読み、構造や理論展開を理解することで、より高度な読解力を養い、またアカデミック・ライティングについても学習する。							
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 豊富な語彙力を身につけ、辞書を使いながら幅広い分野の英文を読むことができる。 2. 比較的長い文章の構造や意味を理解できる。 3. 批判的思考(critical thinking)を通して英文を読み、自分の意見を表現できる。 							
授業回数	授 業 内 容 及 び 計 画					事前・事後 学習 (学習 課題)	担当者名	授業形態
第1回 第2回 第3～5回 第6～14回 第15回	Introduction & 英語文献検索 アカデミック・ライティングの構成 講読+ライティング 文献紹介+ライティング 総括					各自で検索した英文記事を読み、分からない単語を調べてくる。プレゼンテーション・レポート提出に向けた準備。	山 口	講義&エク ササイズ
テキスト	講義中に適宜紹介する。							
参考文献	講義中に適宜紹介する。							
他科目との 関連	専門関連科目の知識も用いながら英語で書かれた英文記事(学術論文)を読み、英語 I～III で学んだ語彙・文法を活用してアカデミック・ライティングを行う。							
成績評価 の方法	定期試験(40%) プレゼンテーション(40%) 出席・講義参加度(20%)							
学習相談・ 助言体制	各授業毎に質疑応答により理解を助ける。							
授業改善の 特記事項	各授業毎に一分間メモを用いて疑問点をくみ上げ、次回の授業に反映させる。							
備 考	大学レベルの英和辞書を必携すること。スマートフォンによるネット辞書の利用も可。定期試験は期末筆記試験あるいは英文レポート提出のいずれか。							

科目コード	14211	授業科目	中国語 I (Chinese I)			担当 教員	○上江洲基(非常勤)		
開講年次	2年次 前期	単位数	2単位	科目 分類	教養科目	授業 形態	講 義		
選択必修	選 択	時間数	30時間						
履修条件	前提科目	なし							
	その他	なし							
授業概要	中国語の発音や文法を学ぶと同時に、日常生活や様々な場面で必要とされる中国語表現を学習する。また、異文化を理解できるよう中国語圏の文化についても学習する。								
到達目標	1. 「声調」の把握：「四声」・第一声・第二声・第三声・第四声・轻声。 2. 発音の把握：①子韻 2 1 ケと単母韻、その他の複合母韻と組み合わせての練習 ②ピンインを完全に読み書き出来るようにする。								
授業回数	授 業 内 容 及 び 計 画				事前・事後学習 (学習課題)	担当者名	授業形態		
第1回	中国語はどういう言語か。漢字はどういう文字か。				事前、事後学習や学習課題については、各講義時に説明する。	上江洲	講 義		
第2回	声調（四声）・単母音・ピンインについて								
第3回	声調の練習・子音								
第4回	発音の練習・声調（第3声）の練習								
第5回	第一課「あなたは日本人ですか」								
第6回	第二課「お茶を飲みます」								
第7回	第三課（形容詞述語文）								
第8回	これまでの復習（声調・発音・ピンインの理解）								
第9回	中国映画鑑賞								
第10回	中国映画鑑賞								
第11回	第四課（代名詞名詞）・映画で聞き取れたフレーズの解釈								
第12回	第五課（所有を表す「有」と数詞								
第13回	中国現代事情（雑誌の記事を参考にして）								
第14回	中国時事のレポートを書く								
第15回	期末テスト								
第16回	期末テストの講評と前期のまとめ								
テキスト	初回講義で指示する。								
参考文献	講義中に紹介する。								
他科目との関連	授業科目全般								
成績評価の方法	試験 70%、提出物・発表 30%								
学習相談・助言体制	講義中に質疑を受け、対応する。								
授業改善の特記事項	授業評価に記述された授業への要望等を必要に応じて取り入れていく。								
備 考	エチケットを守ること。学生らしくない服装厳禁。 本講義は初学者の為の「中国語」の講義である。中国語は独学することは絶対に不可能な言語であるから、どのように中国語を学ぶかの手解きをする。同時に現代および歴史的中国の事例を紹介しながら、今日の抱えている諸問題について考え意見交換を図りたい。諸君達は将来の日本を担う若者であるから、日頃からそのようなニュース等に関心を払い、このような問題には真剣に取り組むように心がけていただきたい。								

科目 コード	14212	授業 科目	中国語Ⅱ (ChineseⅡ)			担当 教員	○上江洲基(非常勤)	
開講年次	2年次 後期	単位数	2単位	科目 分類	教養科目	授業 形態	講 義	
選択必修	選 択	時間数	30時間					
履修 条件	前提科目	なし						
	その他	中国語Ⅰを履修した者を対象とする。						
授業概要	中国語Ⅰで習得した日常会話の語彙や文法を活かし、中国語を第一言語とする話者との保健・看護・医療に関する簡単な会話を練習し、中国語の応用表現を学習する。							
到達目標	1. 中国語Ⅰで学習したことを着実に自分のものにする。「声調」と「発音」の完全把握。 2. 単文の中国語作文が出来るように語彙をふやす。							
授業回数	授 業 内 容 及 び 計 画				事前・事後学習 (学習課題)	担当者名	授業形態	
第1回	第六課・第七課	場所指示代詞	事前、事後学習 や学習課題に ついては、各講 義時に説明す る。	上江洲	講 義			
第2回	第八課	名詞+的+名詞						
第3回	第九課	金銭の単位						
第4回	第十課	能願動詞“想”“要”						
第5回	第十一課	動詞の“在”+場所詞						
第6回	中国映画鑑賞							
第7回	〃							
第8回	第十二課	方位詞、場所詞						
第9回	第十三課	動詞の重ね型						
第10回	第十四課	動詞+時間量詞						
第11回	第十五課							
第12回	中国語検定過去問題練習							
第13回	〃							
第14回	〃							
第15回	期末テスト							
第16回	期末テストの講評と前期のまとめ							
テキスト	初回講義で指示する。							
参考文献	講義中に紹介する。							
他科目との関 連	授業科目全般							
成績評価 の方法	試験70%、提出物・発表30%							
学習相談・ 助言体制	講義中に質疑を受け、対応する。							
授業改善の 特記事項	授業評価に記述された授業への要望等を必要に応じて取り入れていく。							
備 考	辞書必携、NHK、ラジオの「中国語講座」を講義と平行して学ぶこと。							

科目 コード	14311	授業 科目	スペイン語 I (Spanish I)			担当 教員	○上地リリア(非常勤)		
開講年次	2年次 前期	単位数	2単位	科目 分類	教養科目		授業 形態	講 義	
選択必修	選 択	時間数	30時間						
履修 条件	前提科目	なし							
	その他	なし							
授業概要	スペイン語の基礎文法を学習すると同時に、日常会話やさまざまな場面で必要とされるスペイン語表現を学習する。また、異文化を理解できるようスペイン語圏の文化についても学習する。								
到達目標	実際のコミュニケーションに近い場で適切にスペイン語が使えるようになる。 タスク：看護師が患者の問診を取る活動								
授業回数	授 業 内 容 及 び 計 画				事前・事後学習 (学習課題)	担当者名	授業形態		
第1回 第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回 第9回 第10回 第11回 第12回 第13回 第14回 第15回	スペイン語の概要、アルファベット、簡単な挨拶 発音、アクセント 発音、アクセント 発音、アクセント お水をお願いします(名詞の性と数) はじめまして、武田カナです(動詞serの直説法現在) 看護師の田中さんですか?(動詞serの直説法現在) 妊娠4ヶ月です (動詞estarの直説法現在、基数詞1~10) 内科はどこですか?(動詞estarの直説法現在) スペイン語を少し話します(直説法現在の-ar動詞) アルコールを飲みません(直説法現在の-er動詞) 那覇に住んでいます(直説法現在の-ir動詞) 看護師が患者の問診を取る(スペイン語Iのまとめ) 口頭試験A(問診) 口頭試験B(問診)				事前、事後学習 や学習課題 については、 各講義時に説 明する。	上 地	講 義		
テキスト	高橋寛二/糸魚川美樹/福地恭子/リディア・サラ・カハ著『ケ・テ・パサ?—初級スペイン語、看護・医療系語彙を中心に—』朝日出版社 2009年 2,100円								
参考文献	中萩エルザ著『暮らしの医学用語辞典(西和/和西)』インターナショナル・プレス 3,600円								
他科目との 関連	授業科目全般								
成績評価 の方法	小テス 40%、口頭試験 40%、授業への参加態度 20%								
学習相談・ 助言体制	講義中に質疑を受け、対応する。								
授業改善の 特記事項	授業評価に記述された授業への要望等を必要に応じて取り入れていく。								
備 考	本講義は、看護・医療系スペイン語である。スペイン語の基礎文法また医療機関での患者と話すための会話を学習する。スペイン語はスペインのみならず中南米やアフリカなど約四億人の人々によって話されている言語である。現在、日本には中南米からの移住者が増加し、スペイン語の需要が高まっている。講義を通して、スペイン語話者の患者と簡単なコミュニケーションが取れる力を身につけること。								

科目 コード	14312	授業 科目	スペイン語Ⅱ (SpanishⅡ)			担当 教員	○上地リリア(非常勤)	
開講年次	2年次 後期	単位数	2単位	科目 分類	教養科目	授業 形態	講 義	
選択必修	選 択	時間数	30時間					
履修 条件	前提科目	なし						
	その他	スペイン語Ⅰを履修した者を対象とする。						
授業概要	スペイン語Ⅰで習得した日常会話の語彙や文法を活かし、スペイン語を第一言語とする話者との保健・看護・医療に関する簡単な会話を練習し、スペイン語の応用表現を学習する。							
到達目標	<p>実際のコミュニケーションに近い場で適切にスペイン語が使えるようになる。</p> <p>タスク：看護師が医師と患者の通訳をする活動</p>							
授業回数	授 業 内 容 及 び 計 画				事前・事後学習 (学習課題)	担当者名	授業形態	
第1回 第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回 第9回 第10回 第11回 第12回 第13回 第14回 第15回	スペイン語Ⅰの復習① スペイン語Ⅰの復習② 水が飲みたいです (直説法現在の不規則動詞querer) 小児科に行きます (直説法現在の不規則動詞ir) よく眠れません (直説法現在の不規則動詞poder) 何かアレルギーはありますか? (直説法現在の不規則動詞tener①) 入院しなければいけません (直説法現在の不規則動詞tener②) 私にそれを下さい (目的格人称代名詞) 甘いものが好きです (gustar) お腹が痛いです (doler) 手を洗います (再帰動詞) 上着を脱いで下さい (命令) 看護師が医師と患者の通訳をする (スペイン語Ⅰ・Ⅱのまとめ) 口頭試験A (通訳) 口頭試験B (通訳)				事前、事後学習や学習課題については、各講義時に説明する。	上 地	講 義	
テキスト	高橋覚二/糸魚川美樹/福地恭子/リディア・サラ・カハ著『ケ・テ・パサ?ー初級スペイン語, 看護・医療系語彙を中心にー』朝日出版社 2009年 2,100円							
参考文献	中萩エルザ著『暮らしの医学用語辞典 (西和/和西)』インターナショナル・プレス 3,600円							
他科目との 関連	授業科目全般							
成績評価 の方法	小テスト 40%、口頭試験 40%、授業への参加態度 20%							
学習相談・ 助言体制	講義中に質疑を受け、対応する。							
授業改善の 特記事項	授業評価に記述された授業への要望等を必要に応じて取り入れていく。							
備 考	本講義は、看護・医療系スペイン語である。スペイン語Ⅰで学んだ文法事項を反復練習しながら新しい事項を学んでいく。スペイン語ⅠとⅡで修得した表現を用い、スペイン語話者の患者と簡単なコミュニケーションが取れる力を身につけること。							

科目コード	40011	授業科目	看護大学ゼミナール I (OPCN Seminar I)			担当 教員	○金城 芳秀 山口 賢一 山城 綾子 渡久山 朝裕 南 信之介(非常勤)		
開講年次	1年次 前期	単位数	1単位	科目	教養科目	授業 形態	演習		
選択必修	必修	時間数	30時間	分類					
履修条件	前提科目	なし							
	その他	なし							
授業概要	<p>学生が身近に感じている問題を取り上げ、その解決に主体的に取り組む過程を通して、自らを総合的に振り返り、客観的に自分の強みと弱み、そして能動的学習能力に気づく。また、問題の発見と解決のための必要なあらゆる情報収集、図書・文献検索、論文読解、報告書作成、そしてチームワークの基本を学ぶ。この科目は少人数制教育により行い、情報リテラシーを身につける。</p>								
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 身近に起こっている問題をチームで絞り込むことができる。 2. 絞り込む過程では、多様な情報収集を行うことができる。 3. 図書・文献検索から、学術的情報にアクセスすることができる。 4. 自分の意見が言え、他者の意見が聞ける。 5. 自分の意見と他者の意見との違いを認めることができる。 6. チームの一員として自分の役割を見つけることができる。 7. チームの一員としてレポートの作成に参画できる。 8. チームの一員としてプレゼンテーションに参画できる。 9. チームとして個人として活動を振り返ることができる。 								
授業回数	授業内容及び計画				事前・事後学習 (学習課題)	担当者名	授業形態		
第1回	ゼミナールIの導入 (ゼミノートの説明)				附属図書館、 情報処理学習室、 ならびに教員の 活用	金城 山口 山城 渡久山 南	演習		
第2・3回	プレゼンテーション入門 文献検索入門								
第4・5回	すぐりむんの紹介 新聞記事の探索/学習テーマの明確化								
第6・7回	グループワーク： 学習テーマの文献検索								
第8・9回	グループワーク： 文献抄読								
第10・11回	文献抄読資料、プレゼン資料の作成								
第12・13回	文献紹介プレゼンテーション								
第14・15回	振り返り (チーム別)								
テキスト	演習ノート (個人ならびにチームにおける学習活動のガイド)								
参考文献	<ul style="list-style-type: none"> ●看護学生のためのよくわかる大学での学び方 ースタディ・スキル/キャリア・デザイン/プロフェッショナル・スキルー (本学附属図書館の Maruzen e-Book Library 参照) ●KITIE (慶應義塾大学の「情報リテラシー」習得のためのウェブチュートリアルシステム) http://project.lib.keio.ac.jp/kitie/ ●ティップス先生からの7つの提案 学生編 名古屋大学高等教育研究センター http://www.cshe.nagoya-u.ac.jp/seven/student/index.html 								

他科目との 関連	情報リテラシーの基礎づくり科目であることから、全ての科目の導入となる。
成績評価 の方法	振り返りレポート、あなたの率直な意見（30%） チーム別プレゼンテーションによる自己評価・他者評価（70%）
学習相談・ 助言体制	適宜、オフィスアワー（教員と学生が気軽に話せる場所と機会）を設ける。 学習相談等を通して把握した学習ニーズは必要に応じて教員と学生の双方向で共有する。
授業改善の 特記事項	クラスルールの作成例を提示し、グループワークによる追加修正の機会を設ける。 授業協力教員のプロフィール集を改訂し、学習資源としての教員活用を奨励する。
備 考	学習時間を確保できるように、アルバイトやサークル等の時間管理を行なうこと。